

2016年6月20日現在

電気製品認証協議会 (SCEA) 2015年度 活動報告 (案)

電気製品認証協議会 (SCEA) は、1994年12月に設立されて20年が経過し、2014年12月には SCEA 設立 20 周年記念式典・記念パーティを開催することができました。

安全な電気製品の供給を要望する市場からのニーズに応え、事業者における製品安全確保を支援し、流通事業者の方々には安心して電気製品を販売していただき、また消費者の方々には安心してご使用していただくために、民間の第三者認証制度としてスタートした S マーク認証は、製造・輸入事業者をはじめ、経済産業省、学識経験者、流通事業者、消費者団体・流通事業者団体・工業会等関係諸団体の多くの方々にご理解とご支援を賜りながら、今日に至っています。

最近、リコール製品での事故が発生している中であって、SCEA としては、電気用品安全法の対象製品、対象外製品を問わず、事故防止の観点から、S マーク認証製品でのリコールの事実関係調査や S マーク認証基準の検討を実施しています。また、販売店店舗での S マーク広報イベント活動や S マーク付き電気製品の店頭普及実態調査、啓発用 DVD ビデオの活用、さらに S マーク認証製品の市場買上げ等を実施して、SCEA の活動も一定の評価と定着が見られています。

2015 年度は、我が国の電気製品の安全性向上に貢献するために、S マーク認証のさらなる普及と持続的な定着を目指して、次の 5 項目を掲げて、より一層の S マーク認証の信頼性向上と普及促進に努めてきました。

1. S マーク認証のさらなる普及と新たな定着に向けた取り組みの検討・実施

2015 年度は、特に一般消費者に目を向けて消費者向けホームページの作成や、S マーク啓発資料としてのリーフレットや Q&A (まんが) に QR コードを導入することで、携帯等で簡単に SCEA のホームページにアクセスしてもらい S マークを知っていただくような取り組みをした。

一方、関係団体向けには、S マークを推進している電気製品認証協議会の概要を記載したパンフレットをリニューアルして、委員会及び広報活動に関する打合せ等において配布させていただいた。

2. S マーク認証基準の検討、市場買上げ、リコールの事実関係調査等の実施

最近の事象事例、新製品の出現、技術基準・解釈改正動向、社会的ニーズ等を踏まえて、国際整合性と事故防止の観点から S マーク認証基準を検討するとともに、S マーク認証製品

の市場買上げやリコール製品の事実関係調査、経済産業省試買テスト結果の分析等を実施して、Sマーク認証の信頼性向上に努めた。

3. Sマーク付き電気製品の店頭普及実態調査及び各種広報活動の実施

市場でのSマーク認証製品の普及状況を把握するために、Sマーク付き電気製品の店頭普及実態調査を実施した。なお、地域電器店における店頭調査は、2015年度、大阪地区も加えて調査を実施した。

また、一般消費者を対象とした販売店店舗でのSマーク広報イベント活動は、東京及名古屋地区で実施してSマークの普及促進と認知度向上に努めた。

4. 行政機関や流通事業者等へのSマーク認証の活用の要望

消費者保護の観点から電気製品の安全性確保を図るために、電気用品安全法の補完的役割を担うSマーク認証を活用していただくよう、店頭普及実態調査を依頼するための打合せの機会に流通事業者等関係先に要望した。また経済産業省製品安全課が毎年実施している製品安全行政に携わる地方経済産業局及び地方自治体の職員を対象とした製品安全研修でSマークの講義を行うと共に、Sマークリーフレットを配布した。

5. 国際情勢の把握と対応

我が国が加盟しているIECEE-CB制度（IEC電気機器安全規格適合性試験制度）の活動状況等を把握し、Sマーク認証の適切な運営に努めた。

以 上